



埼玉工場の概要

埼玉工場は埼玉県の中央部にある伊奈町に在り、1981年に操業を開始しました。敷地面積は約10万㎡、従業員は約600名です。主な生産品は、工業用粘着テープ、特殊磁気テープ、液晶材料、インクジェットインキ、機能的塗料・接着剤類で、国内だけでなく欧米や中国等の全世界へ広く出荷しています。

社会への責任ある工場として

★ISO9001/ISO14001

品質と環境の国際マネジメント規格の認証により顧客と社会・地球環境への貢献を強くコミットしています。

★グリーンパートナー

製品に含まれる化学物質を管理する「製品含有化学物質管理システム」を構築して運用しており、ユーザーからグリーン調達先として認定されています。



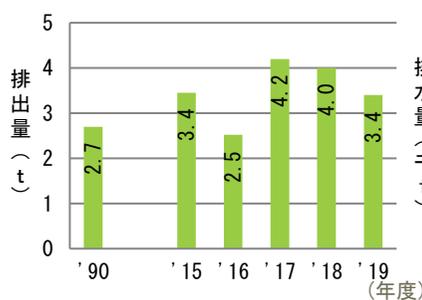
『健康いきいき職場』認証事業場

今後の産業界における生産性向上の新しい手法として、いきいきとした社員、および一体感のある職場を目指す取り組みが「健康いきいき職場づくり」です。この考え方と具体的方法論を産業界に広め支援するフォーラムにDIC(株)埼玉工場として参画し、2014年『健康いきいき職場』認証制度のスターター認証を取得しました。2016年には健康いきいき活動の取組継続が評価され『健康いきいき職場リーダー認証』を取得しました。埼玉工場は、今後もさらに社員が心も身体も健康で明るく、いきいきと働ける職場環境を提供し、生産性を高めていきます。

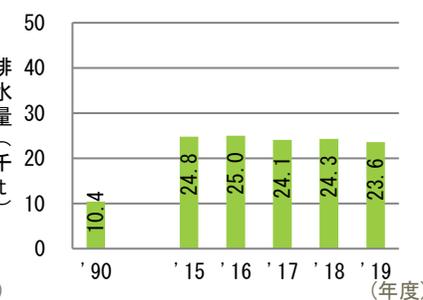
※2019年度のデータ集計期間：2019年1月1日～2019年12月31日



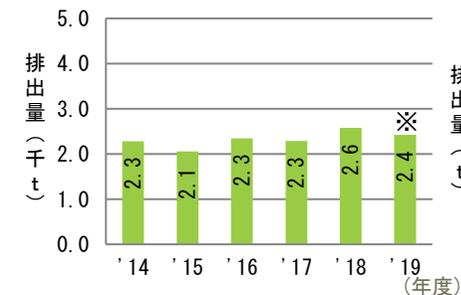
グラフ1 強度率の推移



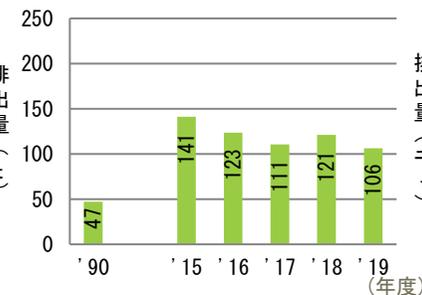
グラフ2 NOx排出量推移



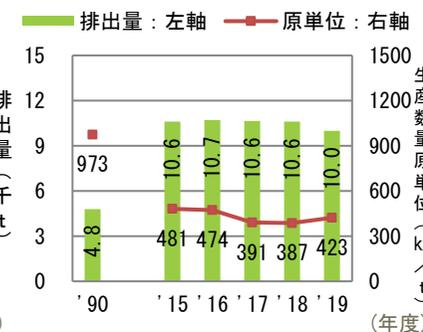
グラフ3 排水量推移



グラフ4 産業廃棄物の排出量の推移
※火災事故による災害廃棄物を除く



グラフ5 VOC(日化協PRTR対象物質) 大気排出量の推移



グラフ6 CO2(二酸化炭素)排出量と生産数量原単位の推移

埼玉工場のレスポンス・ケア(RC)活動

全社で推進しているレスポンス・ケアに基づいて活動しています。

*「レスポンス・ケア」とは

化学物質を製造し、または取り扱う事業者が、自己決定・自己責任の原則に基づき、開発から廃棄に至る全ライフサイクルにわたって、「安全・環境・健康」を確保することを経営方針で公約し、対策を実行し、改善を図っていく自主管理活動です。



【1】事故・災害の未然防止

昨年発生した危険物立体倉庫の火災については、消防当局の調査の結果、出火原因の特定に至りませんでした。今後は、当工場における災害を防ぐ仕組みや日常の安全管理に対する取組みについて厳しく見直しを進め、その強化に取り組んでまいります。二度とこのような災害を発生させないように危険物の採用段階からの確認や管理の仕組み、施設・設備の強化、点検強化等を進め、災害を起こさない工場を目指してまいります。このほか労働に関する事故・災害については、引き続き作業の危険・有害性の評価(リスクアセスメント)や手順書等を見直し、未然防止に繋がる活動を推進すると共に、KYT(危険予知トレーニング)の実施やヒヤリハットの発掘、職場パトロールの実施など日常の安全活動を更に充実させ本質安全に繋げていきます。

【2】環境負荷低減への取組み

①大気汚染の発生源となるコージェネレーション施設(熱供給発電施設)やボイラ等は、燃料に硫黄分を含まない都市ガスを使用し、更に脱硝装置やそれらの適正運転により、SOx、NOx、煤塵等を基準値以下で排出しています。また排水は、製造工程からのものは産業廃棄物、又は下水として、生活排水は下水として、それぞれ水質を確認し適切に管理して排出しています。
②2019年度の産業廃棄物は火災事故の影響によりガレキ類や排水量が一時的に激増しました(約1万7千t)。定常的に排出される産業廃棄物は生産数量の減少に連動し平年並みとなりました。今後も更なる3R(Reuse, Reduce, Recycle)による廃棄物削減を推進していきます。
③化学物質排出移動量届出制度対象物質(PRTR)を含むVOC(揮発性有機化合物)排出量については、製品原料や製造工程の水溶性化推進とVOC除去装置の安定稼働維持等により、使用量と大気排出量の削減に努めています。2019年度のVOC排出量は生産が落ち込み、大きく減少しました。引き続きソフト、ハードの両面からの削減を推進していきます。

【3】省エネルギーへの取組み

コージェネレーション施設稼働、製造工程の効率化、省エネ施策の実施等により省エネを推進しています。2019年度のCO2排出量は、生産数量の減少や省エネ施策実施等により前年比約6%減少となりました。今後も省エネ装置・設備の導入や生産効率化等を継続推進していきます。

【4】化学品の安全管理と教育

当工場内で取り扱う化学品は購入時にSDS(安全データシート)を入手し、職場内教育を実施して安全・衛生面の作業環境を確保すると共に種々の改善を進めています。また当工場で作成する製品は、SDSを作成してユーザーの皆さんに提供しています。一方、2016年6月に改正労働安全衛生法が施行され、化学物質のリスクアセスメントが義務化されました。3ヵ年計画にて全てを網羅する取組みが完了し、2020年からは2巡目の見直しを行っていきます。

【5】工場敷地境界の環境、及び生物多様性保全に向けた取組み

当工場は工業専用地域に立地していますが、一部を住居地域に接しています。このため例年、認定された専門測定業者に委託し敷地境界の騒音、振動、臭気を測定しています。測定結果は法基準値(法基準がない場合は自主設定値)内にありますが、皆無にすることは非常に困難であり、今後も敷地境界の環境には配慮していきます。また、地球環境への配慮として一昨年より開始した生物多様性保全に向けた取組みは、引き続き検討を進めてまいります。

【6】地域とのコミュニケーション

工場操業に際しては、近隣の皆様の理解が大変重要であると考えています。昨夏の火災事故では、近隣の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけすると共に、その重要性を再認識したところでした。この教訓を活かし、より地域の皆様とコミュニケーションを図れる活動を検討していきます。また防災面においても、引き続き地区の防火安全協会や労働基準協会、町の総合防災訓練等へ積極的に参加、協力していきます。

DIC(株)は、下記認定を取得しています

健康経営優良法人 -ホワイト500-
経済産業省と日本健康会議が特に優良な健康経営を実践している企業や団体を顕彰する制度。
2020年度は6,204社が認定。



なでしこ銘柄
経済産業省と東京証券取引所が共同で特に「女性活躍推進」に優れた上場企業を業種毎に選定し、投資家に紹介する制度。
2020年度は46社が認定。



サイトレポート 2020

埼玉工場

〔DIC株式会社“埼玉工場 環境方針”〕

DIC株式会社埼玉工場は、社会の一員として、また化学物質を製造・販売する企業として、安全・環境・健康の確保が経営の基盤であることを認識し、このことを事業活動のすべてに徹底し、「持続可能な開発」の原則のもとに生物多様性を含め地球環境等に調和した技術・製品を提供し、もって社会の発展に貢献する。

2020年度 埼玉工場長 サステナビリティ活動計画

1. 生産・研究活動において安全・衛生・健康を確保する。
2. 会社収益の向上・体質強化に貢献する。
3. “価値ある”新製品を開発、及び品質を提供する。
4. 生産・研究活動を通じ、
社会からの要請や循環型社会形成に貢献する。
5. 人格主義に基づいた人材育成と組織力の向上。



DIC株式会社 埼玉工場
工場長 入間川 伸一

DIC株式会社 埼玉工場

〒362-8577
埼玉県北足立郡伊奈町大字小室4472-1
TEL 048 (722) 8211
FAX 048 (722) 6087

<http://www.dic-global.com/>



DIC株式会社